

Ⅲ 移民の効果・影響 — 沖縄の人々を支えた移民 —

Effect and Impact of Emigration — Emigration Supported the People of Okinawa —

1 沖縄を支えた移民 — 戦前 — *Emigration Supported Okinawa — Prewar —*

1899（明治32）年12月から始まったウチナーンチュの移民は、その後、次々に各国（地域）へ渡航し、1941（昭和16）年までの43年間に72,227人となりました。また、1940（昭和15）年の沖縄県の海外在住者数57,283人は、この年の沖縄県の現住人口^{げんじゅう}574,579人の9.97%（全国平均1.03%）を占めました。これは全国一の比率で、沖縄県は「移民県」と呼ばれました。

Most emigration prior to the war was for the purpose of sending money back to families in the homeland. The money sent by those who had emigrated abroad benefited the economy of Okinawa Prefecture and increased individual's savings. Urashinchus residing in different areas abroad also sent money or carried it back home in even small amounts saved during their hard life abroad so that they might returned to their hometown and lead even more affluent lives.



写真42 苦しい生活をしていた移民を援助した豊里宇志
Ushi Toyozato who assisted immigrants living hard lives



写真43 豊里宇志の子孫・豊里陳盛が伊祖城跡内のお宮の改修のために寄付金を贈った記念碑

The memorial stone commemorating the donation Chinsei Toyozato (the grandchild of Ushi Toyozato, a resident of Peru) made to renovate the shrine in the Iso Castle ruins

戦前の日本人移民は、そのほとんどが郷里の家族へ送金することを目標としていました。毎年海外移民から沖縄県へ送られてきた金は巨額に達し、沖縄県の経済を潤し、個人の貯蓄を増やしました。ちなみに、表2のとおり、1940年の海外移民から沖縄県への送金額は2,459,809円にものぼっていました。海外各地に在住していたウラシーンチュも、郷里に帰って一段とよい生活をするために、苦しい生活のなかから、少しの金額でも、郷里へ送ったり、持ち帰ったりしました。

表2 沖縄県における年次別海外移民送金額

年 次	海外移民送金額	年 次	海外移民送金額
1912(明治45/大正元)年	833,000円	1927(昭和2)年	1,442,531円
1913(大正2)年	831,000円	1928(昭和3)年	1,861,295円
1914(大正3)年	752,000円	1929(昭和4)年	1,986,160円
1915(大正4)年	883,000円	1930(昭和5)年	1,572,815円
1916(大正5)年	1,146,000円	1931(昭和6)年	945,937円
1917(大正6)年	794,000円	1932(昭和7)年	1,671,962円
1918(大正7)年	948,000円	1933(昭和8)年	2,082,558円
1919(大正8)年	1,026,000円	1934(昭和9)年	2,416,749円
1920(大正9)年	1,215,000円	1935(昭和10)年	2,514,463円
1921(大正10)年	927,979円	1936(昭和11)年	2,894,501円
1922(大正11)年	1,423,121円	1937(昭和12)年	3,567,094円
1923(大正12)年	861,028円	1938(昭和13)年	1,856,884円
1924(大正13)年	1,165,760円	1939(昭和14)年	1,532,461円
1925(大正14)年	1,684,835円	1940(昭和15)年	2,459,809円
1926(大正15/昭和元)年	1,700,945円		

資料の出所：1912年から1920年までは、沖縄県『疲弊セル沖縄県ノ現状ト災害復旧事業』（1930年）の「県外輸移出入貨物価額並海外移民送金額調」。1937年は沖縄県総務部統計課『沖縄県勢要覧』昭和14年版（1940年）102ページ、1938年は沖縄県総務部統計課『沖縄県勢要覧』昭和15年版（1941年）103ページ。他は琉球政府『沖縄県史』第20巻 資料編10 沖縄県統計集成（1967年）285～293ページ（原典は沖縄県『沖縄県統計書』各年版による）。[石川友紀作成]

2 沖縄を支えた移民 ―戦後― *Emigration Supported Okinawa—Postwar—*

第二次世界大戦により、沖縄は大きな被害を受けました。戦後、沖縄移民が住むハワイや北米のアメリカ合衆国本土・カナダ、中米のメキシコ、南米のブラジル・アルゼンチン・ペルー・ボリビアなどでは、郷土の復興^{ふっこう}を願って戦災^{せんさい}沖縄救援運動^{おきなわきゅうえんうんどう}がおこり、生活苦にあえぐ沖縄へ食料・衣類・学用品・運動用具・書籍・医薬品などのほか、豚^{ぶた}・山羊^{やぎ}などの家畜までも送りました。

浦添にも、戦後まもなく、海外の村人会から子どもたちのためにと、多くの物品やお金が送られてきました。たとえば、浦添小学校には、ハワイ村人会^{そんじんかい}より、1947（昭和22）年4月22日、5月24日、6月17日、1950（昭和25）年2月10日の4回にわたり学用品が届けられ、1950年10月21日にオルガン1台と柱時計1個が贈られました。また、ペルー村人会より1952（昭和27）年4月21日に21,062円の送金があり、ハワイ沖縄救済会^{きゅうさいかい}より1948（昭和23）年3月10日にノートが届きました。

このような海外移民からの戦災救援運動としての沖縄への救援物資^{ぎえんきん}や義援金の送付は、1945（昭和20）年から1951（昭和26）年ごろまでさかんでした。

写真44 沖縄へ義援金を送るためにハワイで開かれたチャリティーイベントで琉球舞踊を踊る比嘉カメ子さん

Kameko Higa dancing Ryukyu dances at a charity performance held in Hawaii to raise contributions for Okinawa



The Second World War inflicted considerable damage on Okinawa. After the war, in Hawaii, US mainland, Canada, Mexico, Brazil, Argentina, Peru and Bolivia where Okinawan emigrants lived, postwar assistance projects were undertaken in the hope of rebuilding the homeland. People sent food, clothing, school supplies, sports equipment, books, medical supplies, as well as hogs, goats and other livestock to Okinawa. To Urasoe as well, a lot of goods and money were sent from village associations overseas for the children of Urasoe, too.

表3 浦添小学校へ送られた品々

年 月 日	送 り 主	内 容
1947年 4月22日	ハワイ村人会	学用品
1947年 5月24日	ハワイ村人会	学用品
1947年 6月17日	ハワイ村人会	学用品
1948年 3月10日	ハワイ沖縄救済会	ノート
1950年 2月10日	ハワイ村人会	ノート1493冊、鉛筆1513本、消しゴム9532個、便箋41冊、バット2本
1950年10月21日	ハワイ村人会	オルガン1台、柱時計1個
1952年 4月21日	ペルー村人会	義援金21,062円

資料の出所：浦添初等学校編『西暦1946年以降学校沿革誌』

表4 浦添中学校へ送られた品々

年 月 日	送 り 主	内 容
1949年 3月 3日	ハワイ	ノート
1950年 2月11日	ハワイ村人会	ノート629冊、鉛筆638本、消しゴム406個、便箋17冊、バット1本

資料の出所：浦添中学校編『学校沿革誌 自1948年(昭和23)4月17日至1980年(昭和55)3月31日』

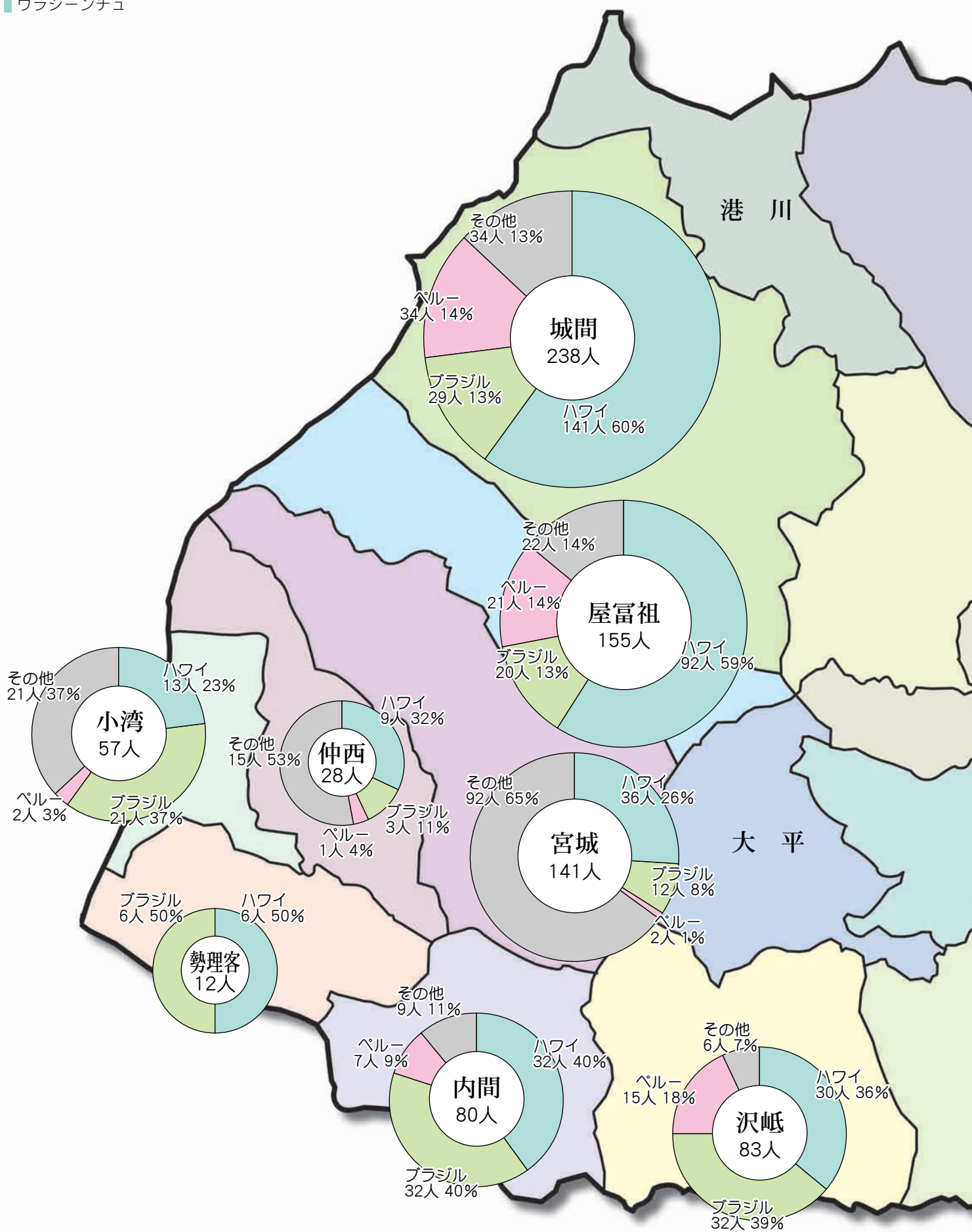


図2 浦添の字別移民数（戦前）

